安里　周作　議員

学校給食費無償化について

質 恩納村の児童数と年間の費用をお伺いします。

答 学校教育課長　石川　司
幼稚園児98名、小学生632名、中学生296名で、合計1026名、年間の給食費総額は、4千6百53万円となっています。

質 給食費の無償化に妨げになっていることは。

答 学校教育課長　石川　司
妨げは制度上ありません。継続し続ける方法で協議を行っています。完全無償化の実現に向けて取り組んでおります。

答 教育長　當山欽也
総合教育会議で協議して、実現できる方向で調整していきたい。

質 第3子無償化の児童生徒数と年間費用、割合をお伺いします。

答 学校教育課長　石川　司
対象者87名、年間の金額2百95万8千4百円、割合は7・3％となります。

質 母子、父子家庭の児童生徒数、給食費割合をお伺いします。

答 学校教育課長　石川　司
ひとり親世帯の幼・小・中の人数は173名、年間の給食費は6百50万円、割合は14％となっております。

質 優先的にひとり親家庭の給食費無償化ということを考えていただきたい。

答 教育長　當山欽也
現在も検討中で、まず幼稚園、統合する中学生の無償化、小学校も含め全体的な給食の完全無償化も検討しており、恒久的な財源捻出が必要でございます。実現する方向で考えていきたいと思っております。

シンカプロジェクトについて

質 平成30年度定例会で、平成31年度からは苗を販売していくという答弁がありました。平成31年度は苗の配布やタイワンシロガシラ対策、資材などの補助は、どのように考えていますか。

答 農林水産課長　佐渡山安正
平成31年度までは、補助したいと考えております。

サンゴの村宣言について

質 「世界一サンゴにやさしい村」を目指して行く中で、自然環境の基礎的な科学調査の取り組みを伺います。

答 農林水産課長　佐渡山安正
恩納村の自然環境の保全、再生に向け取り組んでいる。本調査はこれから5年間、陸域も含めて調査をしている状況です。

サンゴの村宣言
ONNA VILLAGE in Okinawa

知（自ら学ぶ子）について

質 自ら学ぶ力を育むことが重要だと考えています。幼稚園、小学校低学年は特に重要だと考えます。この時期の教育をどのように考えているか。

答 学校教育課長　石川　司
教育委員会としても、幼稚園、小学校の低学年においては、大切な時期と理解しております。幼稚園は、遊びの中から学ぶ力というのは出てきます。気になる子については、教育支援委員配置、小学校低学年に連携、また幼稚園、小学校低学年におかれては、人格を形成する上でとても大切な時期になっております。学ぶ能力としての学力、今後重要となる学力だと考えます。そこら辺を考えていきたい。

大城　堅三　議員

産業・経済振興について

質 水産業振興と養殖網の支援事業、今年度も村長の施策であります安定供給へ向けての支援事業、継続していくのか。

答 農林水産課長　佐渡山安正
これまで水産業の振興は、前兼久漁港、水産物加工流通施設の改修工事、2年かけて行いました。今後は、水産物共同処理加工施設の老朽化が進行しており、モズク、アーサの保存施設と二次処理施設の機能維持と強化を図るため、漁業組合と調整し改修に取り組んでまいりたい。ここ5年間、モズク、アーサの不作が続いている。特に今年は冬季の温度が高い深刻な状況が続いており、漁業者の生産意欲が減退しないよう、モズク網の補助の支援を今年度も継続してまいりたい。

質 近年、観光漁業が多くなり、真栄田岬に隣接する真栄田漁港、青の洞窟で今後さらに増加が予想されます。漁業関係者やレジャー客が利活用できる便益施設の整備が検討できないか。

答 農林水産課長　佐渡山安正
真栄田漁港は、漁港利用者の方々が使うトイレは事務所に1カ所で、これまで里海推進協議会の中で、漁港のあり方について協議しました。近年、漁港からレジャー客、ダイビング客が漁船を利用している状況ですので、今後、便益施設は必要ということで、計画は持っている。これからの漁業組合のトイレの運営の方法、維持管理を含め考慮しながら進める方向で検討したい。

質 瀬良垣の旧漁港の活用について、以前、質問の答弁でマリーナの展開を話されてました。村内にマリーナ的な部分で、整備等を検討できないか伺います。

答 農林水産課長　佐渡山安正
瀬良垣漁港を整備した経緯は、北部域の漁業関係者の拠点施設として整備しており、今後の漁港整備は、旧船溜まり場も含めて活用していくのがベスト。村は観光産業もリーディング産業です。漁業組合、地域とも話し合い、漁業関係の需要も含め検討したい。

質 観光産業にも寄与できると思います。財政上、厳しいところもある。実現に向けての考えをお聞かせください。

答 村長　長浜善巳
マリーナ構想整備の件は、いろんな方向から耳にしてます。やはり瀬良垣区、漁協、関係機関の意見で検討も必要です。将来の展望も見据え、財政面もありますが地域活性化のためにも検討したい。

質 谷茶区の強い希望の協議会を強化していただきたい。要請行動もともにできる環境をつくれないか。

答 企画課長　山城雅人
協議会ですが、関連事業の場として三者が意見交換する場を、31年度のスタートに向けて事務調整を始めている。OIST、谷茶区、村の意見交換の場を設け、要請などを調整し、定期的に開催できるよう進めたい。

質 門前町構想、産業クラスター、村の将来に向けた考えをお聞かせ下さい。

答 村長　長浜善巳
OISTの考えとしては、スタートアップ企業、小規模の会社を誘致して、その企業を育てていこうという思いであります。今後、村の産業クラスターを進める上でも大変重要な部分で、今後の活用に関しては、OIST、谷茶区も含めて皆様の意見も聞き進めたい。